

## ラバーフィックス (ポリマー改質アスファルト 型)

昭和瀝青工業株式会社

### 概要

ラバーフィックスは、ストレートアスファルト中に熱可塑性エラストマーを均一に溶融分散させた改質アスファルトで、舗装設計施工指針に記載されたポリマー改質アスファルト 型 (旧名称; 改質アスファルト 型) の標準的性状を満足する製品です。

### 特徴

- ・ラバーフィックスはストレートアスファルトに比べて軟化点やタフネス・テナシティが高く、感温性や低温脆性を改良しています。

### 用途

- ・耐摩耗対策が必要な舗装合材用
- ・耐流動対策が必要な舗装合材用
- ・すべり止めを目的にしたギャップ粒度の舗装合材用
- ・透水性開粒度舗装合材用
- ・橋面舗装合材用

### 荷姿

- ・アスファルトタンクローリー車



写真. 地方道の坂道での施工例(密粒ギャップ)  
(すべり抵抗性試験 (BPN) 状況)

表-1. 混合物の代表性状(例)

項目		ラバー フィックス	ストアス 60 - 80
バインダー量		%	5.4
マーシャル 特性	密度	g/cm <sup>3</sup>	2.361
	安定度	k N	12.3
	フロー値	1/100cm	31
動的安定度 (DS)		回/mm	4200

合材種：密粒度アスコン(20) 骨材：弊社姫路プラント使用分注) 混合物性状は使用される骨材や合材種によって変わります。

表-2. ラバーフィックス代表性状

項目	代表性状	標準的性状
針入度(25 )	1/10mm	58
軟化点		53.0
伸度(7 )	cm	38
タフネス(25 )	N・m	12.1
テナシティ(25 )	N・m	7.3
密度(15 )	g/cm <sup>3</sup>	1.030
推奨混合温度		160 ~ 175
推奨締固温度		150 ~ 160

標準的性状：舗装設計施工指針 (H18.2)